

令和2年度 学科AO入試 総合考査 問題用紙【武道教育学科】

試験時間：60分

.....

資料は、日本の武道精神を通じ、日本の歴史や伝統・文化の素晴らしさを受け継ぐことの意義について述べたものである。これを参考にしながら、以下の問いに答えなさい。

問1. 筆者が文中で述べている「日本人独特の精神文化」とは、欧米の精神文化と比較してどのような違いがあると考えるか。日本の武道、歴史、気候風土、日本人の気質、伝統文化、伝統工芸、気遣いや礼節、食文化など、具体的な例を挙げながら説明しなさい。

問2. 筆者は、イギリスの教育哲学者、アーサー・ウィリアム・ワードの言葉を引用しながら、「教える」ということにおいて「何かを感じさせ、〈感じる心〉を育てること」の重要性を説いているが、自分自身が行っている武道を通じて、どのようにすれば〈感じる心〉が育つと考えるか。詳しく説明しなさい。

京都大学総長・平澤興先生は生前、「知識ではなく、その人の体全体から滲み出る味わいでその人物が分かる。また、そういう人にならなければなりません」と、人間学の重要性を説いた。この体全体から滲み出る味わい、これこそが《人間力》のことであると。

このことは、〈限りある人生を自らの志と信念によって定めた目標に向かって精一杯生ききる〉という姿勢であろう。そしてそれを育むもの—それは戦後われわれが経済至上主義に傾倒し、捨て去ってきた日本人独特の精神文化—天然自然の風土と、その風土が生み出し、古来脈々と受け継がれてきた精神のことである。この不思議な人間的能力は、さまざまな名で呼ばれてきた。〈大和魂〉というときの〈魂〉も、本来は頭の中の知識たる〈才〉と区別された実践知を意味する言葉である。

イギリスの教育哲学者、アーサー・ウィリアム・ワードは、「凡庸な教師は、ただしゃべる。ちよつとまじな教師は、理解させようと努める。優れた教師は、自分からやってみせる。本当に優れた教師は、心に火をつける」と言った。

辞書を調べても〈感動〉という言葉はあるが、〈知動〉という言葉、〈理動〉という言葉はない。〈知識〉や〈理屈〉では人は動かないからである。人が動くのも、人を動かすのも感じるものがある。初めて人は動く。

この〈感動〉を与えることが、《心に火を点す》きっかけとなるのである。われわれに見えるもの、聞こえるものの範囲というのはごくわずかである。だから教育には、知識を与えることも必要だが、何かを感じさせ、〈感じる心〉を育てることのほうが大切なのである。